

合意形成手法等調査事業 『調査結果報告会』開催される



昨年11月より取り組んできた「平成20年度下半期の中心市街地活性化に取り組む関係者間の合意形成手法等調査事業」（経済産業省委託事業で㈱ソフトクリエイションが受託）は、3回の意見交換会、来街者アンケート、市と専門家の勉強会など予定の事業を終了し、報告会を3月26日午後7時から中央公民館第一講義室で、市議会議員を始め、沼田市中心市街地活性化の役員など関係者54名が参加して開催されました。

会議は、街なか対策部細野課長の進行により、専門家の清水義次氏及び柳田優氏の診断レポートの報告を受け、その後質疑応答を行いました。専門家の診断レポートと質疑は以下のようなものでした。

診断レポート

清水義次氏

商業の復興は、街なか居住と

地域産業の復興」から



1 中心市街地活性化のこれまでの取組について
現状分析：過去の現状分析は、精力的に行なわれているがほとんど役に立っていない。
取組内容：区画整理の合意形成が遅れ、まちづくりに対する機運の低下を招いている。歴史的な地域資源や街並みを活かすことが最も大切である。木にこだわった「メンテナンス」が守られていないことはもったいない。
取組体制：専門部署が設置されていることは評価できる。市民を巻き込み、三町が連携し、市民が連携するまちづくり活動にするべき。

2 今後の中心市街地活性化や基本計画策定の課題とポイント

商業の復興は「魅力的な中心市街地居住」の実現から
にぎわいは、定期市の更なる充実でもう一度じっくりとしたウィジョン（まちづくりのランドデザイン）を共有するプロジェクトは、空き地をお洒落に暫定活用していくことから始めるべき
特に伸ばすべきポイント
歴史あるまちの地域資源
新しい飲食業の芽
中心市街地と周辺の地域資源を繋ぐ遊休・低利用不動産の活用

3 今後の取組みの方向性
合意形成、事業者、市民との連携
まちづくりに必要な専門分野
総合プロフェッショナルのある人材
不動産活用（不動産企画、事業計画、ファイナンスなど）、リノベーション、リフォーム

1 再開発、共同建替え、連鎖型再開発、トータルシビックデザイン街を利用するひとたちのための公共空間、交通、サイン、地図、広告等を総合的にデザインすること）、インキュベーション（起業支援）、食に関する商品開発、業態開発等のノウハウと人材

4 基本計画の認定に必要なこと
三町全体のユークスとマーケティングに基づき緻密かつ実践的な事業収支計画。
協議会組織づくりと共に、まちづくり会社を自ら立ち上げること。
これからの時代の本質を捉えて、「まちづくりは自分たちでやっていくのだ」という覚悟」で取り組む。
迅速な調整等、事業全体をコーディネートし、推進する人材の不足を補うこと。
スモールスケールに小さなプロジェクトを動かす、成功事例をつくることから始める。

集まって議論しているまちづくりから、自ら負える責任と金銭的なりすを担い、実行することを通じて動きながら考えるまちづくりへと変わっていくことが望まれる。そうすることで、すばらしい地域資源を活かした中心市街地と周辺の農地、森林が一体となった「森林文化都市沼田」が形作られるであろう。

柳田 優氏



地産地消で、スロライフを

1 中心市街地活性化のこれまでの取組について

現状分析：これまでの調査等の取組は概ね適切に実施されている。ただし、実態は把握できているが原因について明確にできていないものが多い。さらに課題はある程度わかっても有効な対策はなかなか見い出せていない。
取組内容：取組内容の効果について十分な検討が行なわれていない。環境が激変しており、消費者ニーズも変わり、財政状況も極端に厳しくなっている現在、もっと切実に費用対効果突き詰めていく必要がある。

取組体制：中心市街地の活性化は市民全体の課題であるという認識が薄いのではない。市民を巻き込んだ取組が必要。また、中心市街地の範囲もほぼ商店街に限定されており、周辺の住民は当事者意識が無いのではない。市民の幅広い参加が活性化の要となるので、取組体制構築において十分配慮が必要。

2 今後の中心市街地活性化や基本計画策定の課題とポイント （裏面へつづく）

先行買収した事業用地の活用対策として、 街なか回遊健康体操の看板を設置しました！！

- * 第1弾「メタボリック5GO! 5GO!」
- * 多くの方に利用して頂くために、下記のチラシを作成しました。
- * チラシは今後配布予定です。
- * 第2弾「筋トレ体操（仮称）」を準備中です。

街なかを歩いて健康になろう！
内臓脂肪を撃退！「メタボリック5GO! 5GO!!」
「街なか回遊」メタボ解消体操

その1:背筋の体操 (1分間)
 1両足を前方へ振り上げ 2うしろへ平行にひく 3前方へ伸ばし 4下へ振下ろす 5両手を頭上へ振り上げ 7上へ振下ろす
 ※両手を揃えて1～5の動作を繰り返します
 ※子カラは入れずに、流れるように
 ※準備体操のつもりで軽くやしましょう

その2:下肢の体操 (1分間)
 (下肢筋力のコアトレーニング)
 1 2 3 4 少しずつしゃがむ
 5 6 7 8 少しずつ伸びて元の位置へ
 ※かかとをつけたまま
 ※息は止めない
 ※ゆっくり、しっかりとやる

その3:腕振り有酸素運動 (1分間)
 1 エイホッ、エイホッと楽しくやしましょう
 2 あまり飛ばさずほうに...

その4:アイヘン体操 (1分間)
 (下肢筋力とバランス)
 1 2 右手をあごの下へ、右足を1歩踏み出す
 3 4 はじめのポーズへ戻る
 5 6 左手をあごの下へ、左足を1歩踏み出す
 7 8 はじめのポーズへ戻る
 ※自分にあった歩幅で踏み出しましょう
 ※最後まで笑顔を忘れずに

その5:足踏み体操 (1分間)
 (太ももと腰筋筋の強化)
 1 1秒に1回のリズムで足踏みします
 2 へその高さまで膝を上げましょう

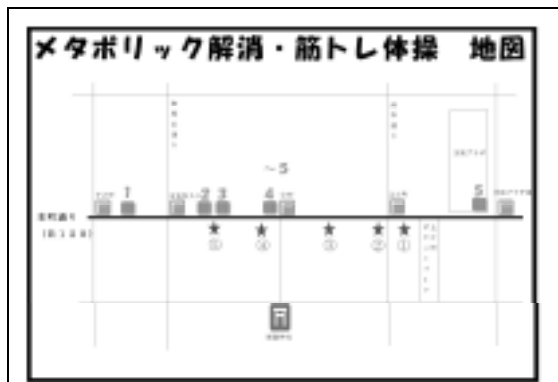
○5種類の体操を5分(1カ所1分を5カ所)でできる気軽な運動です。
 ○この体操は福井県鯖江市が公開しているものを転用したものです。
 公開動画:ア・レス | http://www.city.sabae.fukui.jp/
 ○内臓脂肪の蓄積によって病気が引き起こされやすくなった状態を「メタボリック症候群」といいます。

チラシです

1分間
出来るかな？

普段使っていない筋肉を動かしてみよう！！

看板設置場所



課題

- 商業環境の認識(もう商業では活性化できない)
- 開発指向の見直し
- 新しい生活価値の模索(アロライフスロフード)
- 循環型経済構造の構築
- 特に伸ばすべきポイント
- すでにある資源の活用
- すでにある生活価値の再発見
- 沼田の自然資源(住みたい人の誘致)
- 3 今後の取組みの方向性
- 開発指向の見直し(生活の質の追求)
- ハト優先及び補助金頼りにしない
- 循環型経済を目指す
- 町単位でなく市全体で考える
- 自分たちで出来ることをやる
- まちづくり会社を本気で考える
- 4 中心市街地における商業について
- 商店街の方向性
- 現在残っている店の強化
- ロードサイド型商店街(店舗前駐車場型商店街)
- 遊休地の駐車場利用
- 職人の街を既存店舗で
- 高齢者マーケティングの可能性

沼田市の特産物等を活かした流通のあり方等について

農産物直売所を中核として循環型経済を起点に
 売り方の工夫
 地元出身者のネットワーク
 ネット販売 情報発信
 グリーンベル21の再生

質疑応答

問一：災害に強い安心・安全なまちづくりはどこの負担で作っていくか。
 専門家の回答：行政と権利者の双方で作っていくもの。
 問二：古い建物を活用するために、耐震問題を解決する良い手だてがあるか。
 専門家の回答：耐震の補助をする自治体も出てきた。すべてを耐震にするのではなく、命を守る部分だけ耐震化するなど簡便な方法もある。
 問三：木造家屋の曳き家は効率が悪いと言われ、新築することにしたが...
 専門家の回答：普通の業者は、曳き家は面倒で割が合わないので新築を勧めたがる。良心的な業者を紹介することができる。古材の市場も発達してきた。古材を活用するという方法もある。



街なか対策課

人事異動のお知らせ

平成21年4月1日付けで、人事異動がありました。

街なか対策課の転入・転出は左記のとおりです。

今後ともよろしく申し上げます。

【転入】

区画整理係長

倉品 敦(契約検査課から)

企画振興係主査

松井 照晃(都市計画課から)

大変お世話になりました。

【転出】

区画整理係長

中村 一喜(交流推進課へ)

企画振興係主査

佐藤 茂(環境生活課へ)